

【アメリカ】 2010 年度補正予算法成立

海外立法情報課・廣瀬 淳子

* アフガニスタン増派のための予算を中心とする、2010 年度補正予算法が、2010 年 7 月 29 日に大統領の署名を経て成立した(P.L.111-212)。審議の主要な争点は、下院民主党の求めている国内政策に関する予算と財政赤字の削減であったが、アフガニスタン政策の今後についても議論があった。

法案の審議過程

2010 年度補正歳出予算法案(H.R.4899)は、当初災害対策夏季就労促進法案として、51 億ドルの災害救援基金への資金補給と 6 億ドルの労働省の夏季就労プログラム予算を柱とする小規模なもので、2010 年 3 月 23 日に下院を賛成 239、反対 175 で通過した。上院では、オバマ政権の要求にそった増派予算などの項目が盛り込まれた補正予算法案となり、5 月 27 日に、賛成 67、反対 28 で通過した。上院通過法案の総額は、589 億ドルであった。

法案の上院通過後に下院民主党指導部が、国内政策に関する 228 億ドルに上る大規模な補正予算を盛り込もうとして 7 月 1 日に再度修正法案を通過させた。7 月 22 日に上院は下院の修正案を否決したため両院協議会を開催せずに、7 月 27 日に下院が上院の通過案に賛成して成立させた。

審議の過程で、共和党議員は増派予算を支持していたが、民主党議員の間では賛否が分かれていた。

アフガニスタン情勢をめぐる議論

オバマ大統領は、2009 年 12 月 1 日にアフガニスタンへの 30,000 人の増派を発表した。増派が完了すれば、兵力は過去最多の 98,000 人規模となる。アフガニスタンでの戦費予算は、2001 年度から 2008 年度で合計 1592 億ドル、2009 年度が 561 億ドル、2010 年度の当初予算が 691 億ドルとなっていた(注 1)。

2010 年度補正予算法案の審議過程で、アフガニスタン政策を巡っての論点は撤退期限であった。大統領に撤退計画の提出を求め、2011 年 7 月以降は撤退以外に予算を使うことを認めない修正案などが提出されたがいずれも否決された。

連邦議会には、アフガニスタンの現政権の腐敗や統治能力に強い不信感がある。タリバン勢力が盛り返し戦果が挙がっていないことや、ベトナム戦争と同様泥沼化し戦争終結への道筋が見えないことにも懸念がある。

7 月 25 日にはインターネットサイトの WikiLeaks に大量のアフガニスタンにおける軍事活動等に関する機密文書が掲載され、主要紙も詳細な分析を掲載したことから、さらに懸念が拡大している。

補正予算の概要

2010年度補正歳出予算としてオバマ政権は2010年2月に、総額643億ドルを要求していた。このうち、アフガニスタンへの増派予算は、300億ドルであった。最終的に主要な項目では政権の要求額に近い額で成立した。概要は次の通りである(注2)。

主要な項目	政権要求額(億ドル)	上院通過額(億ドル)
総額	643	589
裁量的経費総額	461	458
連邦緊急管理庁(FEMA)災害救済基金	51	51
国防省戦費予算	310	310
その他の国防省予算	21	21
戦争関連対外援助	45	38
ハイチ地震に関連する復興・援助	28	29
国境警備費	6	0
メキシコ湾原油流出事故対策	1	1
義務的経費総額	181	135
ベトナム復員兵の健康補償	134	134

州への教育・メディケイド資金緊急援助法成立

州などの地方政府の財政危機により公立学校の教員が解雇されることなどを防止するための財政援助を目的とする、教育・メディケイド資金緊急援助法が、大統領の署名を経て2010年8月10日に成立した(P.L.111-226)。

これは、教育関係雇用援助予算を下院民主党が上述の補正予算法案に盛り込もうとしていたが、上院の反対で削除されたために、別個の法案として審議され成立したものである。

総額は261億ドルで、州のメディケイドを援助するための予算が161億ドル、州の教育関係職員等の雇用援助予算が100億ドルとなっている。この予算により、財政危機による警察官、消防士、看護師などの解雇も避けることができる。

共和党側はこの法律は、州財政の危機的状況の解決策にはつながらず、当面の救済策のみであること、また11月の中間選挙を前にして民主党が教員組合等の支持を得るための法律であるとして批判している。

注(インターネット情報は2010年9月17日現在である。)

(1) Amy Belasco and others, "FY 2010 Supplemental for wars, Disaster Assistance, Haiti Relief, and Other Programs," *CRS Report for Congress*, July 27, 2010, pp.16-20.

<<http://www.fas.org/sgp/crs/misc/R41232.pdf>>

(2) *ibid.*, pp.4-6.